

第 1 1 回 教育委員会会議録（要点）

日 時 場 所	平成28年7月11日（月）午前10時00分 庁舎第2別館 11階 特別会議室2号
出席委員	委員長 奥本 忠孝、委員 藤井 信子、委員 吉良 佳世、 委員 篠宮 博幸、教育長 高橋 実樹
欠席委員	なし
会議に出席した者の職・氏名	事務局長 新居田 昌彦、総務課長 林 秀樹、 学校教育課長 益田 哲郎、社会教育課長 八木 輪吾、 文化振興課長 真部 春樹、体育振興課長 神野 秀夫、 学校給食課長 丹下 義人、総務課課長補佐 安藤 透水江
傍聴人	一般 1名
議 題	第11回 (1) 議案第51号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について (2) 議案第52号 今治市立花カルチャーセンター運営審議会委員の委嘱について (3) 議案第53号 今治市青少年センター運営協議会委員の委嘱について (4) 議案第54号 今治市朝倉ふれあい交流センター指定管理者選定審議会委員の委嘱について (5) 議案第55号 今治市体育施設指定管理者選定審議会委員の委嘱について (6) 議案第56号 今治市スポーツ推進審議会委員の委嘱について (7) その他
奥本委員長	傍聴について確認する。

—各委員—

異議なし

奥本委員長

異議なしと認め、傍聴を許可する。

(傍聴人入場)

奥本委員長

午前10時00分、開会を宣す。
第10回会議録を承認してよいか問う。

—各委員—

承認する。

奥本委員長

会議録の署名委員に篠宮委員、高橋教育長を指名する。教育長の報告を求める。

高橋教育長

今日は3点ご報告いたします。
まず、1点目です。学校訪問大変お世話になりました。
5月2日吉海小学校、宮窪小学校、近見中学校をかわきりに、7月4日岡村小学校、関前中学校を最後に今年度の学校訪問をすべて終了いたしました。
みなさまに学校訪問をしていただいたことに感謝申し上げます。ご覧いただいたように、どの学校も子ども達、先生方も元気で学習活動を行っていました。また、子ども一人一人のところに寄り添いながら、支えており、今の気持ちで今年度やりとおしてほしいとお願いしました。
ただ、委員のみなさまからもご指摘がございましたように、時間を守ること、挨拶、靴箱の靴の整頓はいい状態でしたが、学習訓練、姿勢、鉛筆の持ち方に気になる子どもがいたので、きちんと指導をしていただくようお願いしました。
2点目でございます。6月議会の報告をいたします。
私は谷口議員の一般質問で、ICT教育についてのご質問でした。そのことにつきましては、お配りしましたプリントのとおりです。
ICT教育は情報通信技術でございますが、急激に現在進んでおります。これにしっかりと対応すると共に、グローバル化の進展に伴い、子ども達を取り巻く環境は大きく変化しており、社会の変化に対応できる力を身に付けるこ

とは非常に重要であると思っております。このため、未来を担う子ども達には発達段階に応じて主体的にICTを活用しながら情報活用能力を育成することは大事にしていきたいと考えております。

ただ、子ども達が、自らの手で問題に取り組み、解決につなげていく意識を高め、実行していくことや情報モラルをしっかりと身に付けさせることが大事ですので、子ども達に指導、また、先生方にもそういう形で研修していただきたいと考えております。

3点目でございます。大雨警報発令が6月の後半続いておりました。6月21日、6月22日、6月23日、6月24日、そして6月29日と立て続けに警報がでました。

現在学校では午前7時の時点で大雨警報が発令していた場合、給食をカットいたします。これは自動的にカットされますので、おさまってもお昼までの登校となります。警報が7時過ぎにでも、子ども達はその段階で学校に来ていたら、情報を得ながら出来るだけ安全な時に家に帰ってもらうよう対応しております。

ただ、中学校区がありますので、中学校小学校が連携相談しながら、同じようなかたちで登下校できるように対応しております。

なかには今回も期末試験があるので、中学生は期末試験をしてから帰ってもらったということもあります。できるだけ、中学生小学生あわせて、同じような方向ですすめていきたいと思っております。これからも、先日も台風1号が発生しまして、低気圧に変わりましたが、大雨台風地震等いつおこるかわからない状態でございます。地域の方の避難所としてもしっかり対応していかなければならない、そして、子どもの教育環境もしっかり確保していかなければならないということが学校が避難所になった場合はありますので、我々としては市民の命に関わることはしっかりと対応していかなければならないけれども、子ども達ができるだけ早く学習できる環境の整備もしなければならぬという最悪の状態を考えた対応をしていく所存です。以上です。

奥本委員長

教育委員会事務局長に報告を求める。

6月定例会市議会での、教育委員会関連の答弁内容について報告いたします。

今議会では、古川議員より、教室へのエアコン設置について、野間議員より、市立小中学校の給食費について質問がございました。

まず、古川議員の教室へのエアコン設置についてでございますが、学校環境を整えるため、教室にエアコンを設置してはどうかとの質問でございました。

平成26年4月1日現在の公立小中学校における普通教室・特別教室への冷房設備設置率は29.9%と、前回平成22年度より11.0ポイント増加しています。これを都道府県別に見ると、東京都、神奈川県、群馬県、埼玉県、大阪府、兵庫県の1都1府4県で、保有室数の3割弱、設置室数の約半分を占めており、その背景として、騒音対策で窓が開けられないとか、窓を開けてもビル等で風通しがよくない、ヒートアイランド現象で異常に熱いといった対策のために整備されているのではないかと推測されること。

愛媛県においては、同様の調査数値として、冷房設備の設置率は9.5%で、前回調査より2.2ポイントの増加となっているが、そのうち県下11市については、現在のところ普通教室への設置はなく、今年度、松山市がPFI方式で入札・契約を行い、来年度から順次整備予定で、整備費約54億円、維持管理費約9億円、年間電気代1億円を予定していること。

学校環境衛生基準の温度の項目に関する基準は、10度以上30度以下が望ましいとされており、環境省の推奨する家庭やオフィスでの夏の冷房時の設定温度の目安は28度となっている。参考ではあるが、登校日で28度を超える日は近年減少し、落ち着いてきていること。

日頃より、適切な水分補給やバランスのよい食事、しっかりとした睡眠を指導し、暑さ寒さに負けない体づくりに努めているが、環境管理温湿度計等を設置して、登校時間中の気温を細かく測定し、どの程度エアコンの運転時間が予想されるか調査し、総合的に判断していきたい旨、答弁をしました。

再質問として、登校時間中の気温をしっかりと調査してほしい。総合的に判断するとは、どういうことかとの質問がありました。

これに対して、子どもたちの安心・安全の確保を第一に、校舎躯体の耐震化工事が今年度で完了する中、学校施設の老朽化対策や体調管理も含めた教育環境整備について、中長期財政計画等の場で調整・検討していきたい旨、答弁しました。

次に野間議員より、市立小中学校の給食費について、統一にかかる経費、格差の是正について、質問をいただきました。

まず市長より、格差の是正について、今治市の学校給食は、共同調理場から自校方式へ転換し、食料の安全性と安定供給体制を確立する都市宣言といった先人たちの努力の積み重ねの上に、多くの地元産食材を積極的に給食に使用し、地産地消の先進都市として、全国から行政視察を受けている。各調理場では、手作り調理を基本とした安全安心な給食の提供を実践し、エネルギーや栄養素などの学校給食摂取基準と食材の価格変動を勘案した独自献立を作成することで、給食費の抑制に努めており、保護者にも理解してもらっている。現在、給食費は統一されていないが、使用頻度の高い食材については、全市、陸地部、島しょ部のエリア入札や、選定対象食材範囲を広げ、各調理場の購入単価の調整を段階的に進めている。今後、さらにこの調整を進め、食材調達の仕組み改善により、給食費統一に向けて取り組みたい旨、答弁。

私より、小学校の給食費が220円から255円と差がある中、最も安い一食あたり220円に、中学校も同様に250円から275円と差がある中、最も安い250円に統一し、本年5月1日現在の児童・生徒数をもとに、給食実施回数小学校185回、中学校180回で試算した場合、小学校の給食費は約393万円、中学校は約110万円、合計で年間約503万円の費用が必要になる旨、回答しました。

	<p>〈議題審議〉</p>
奥本委員長	<p>議題の審議に入る。「議案第 51 号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について」から「議案第 54 号 今治市朝倉ふれあい交流センター指定管理者選定審議会委員の委嘱について」まで説明を求める。</p>
八木社会教育課長	<p>－「議案第 51 号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について」から「議案第 54 号 今治市朝倉ふれあい交流センター指定管理者選定審議会委員の委嘱について」まで説明－</p>
奥本委員長	<p>承認してよいか問う。</p>
－各委員－	<p>承認する。</p>
奥本委員長	<p>「議案第 55 号 今治市体育施設指定管理者選定審議会委員の委嘱について」から「議案第 56 号 今治市スポーツ推進審議会委員の委嘱について」まで説明を求める。</p>
神野体育振興課長	<p>－「議案第 55 号 今治市体育施設指定管理者選定審議会委員の委嘱について」から「議案第 56 号 今治市スポーツ推進審議会委員の委嘱について」まで説明－</p>
奥本委員長	<p>承認してよいか問う。</p>
－各委員－	<p>承認する。</p>
奥本委員長	<p>次に「その他」を議題とし、説明をもとめる。</p>
吉良委員	<p>先程の報告に関して知りたいことがあります。給食費の件ですが、市議会議員が一番低いほうにそろえてほしいということはなぜですか。</p>
新居田局長	<p>議員さんも予算等勉強されるなかで、教育委員会費の中で学校給食運営委員会予算というものがあまして、ここに 700 万円程予算計上させてもらっております。こうい</p>

ったものを給食費に利用できないかという視点からご指摘頂いたものです。

現実には私が答弁したような内容で、また市長のほうからも答弁しました。

吉良委員

給食費を徴収しないということですか。

新居田局長

原材料費を徴収させて頂くというなかで、合併した同じ今治市内で給食費にばらつきがあるのはどうかというご意見でございます。

吉良委員

下に合わせるということですか。

新居田局長

安いところにどうかというご意見です。

高橋教育長

揃えたらどうかというご質問だったのですが、現状は局長が説明しましたように、地産地消を推進しておりますので、それぞれの地域で購入します。

ですから、市内中心部で購入する値段と島嶼部で購入する値段が違うのは島嶼部は交通費がかかっておりますから。

市民会館で子ども達に食べてもらう食材をどのようなものがよいか、同じものでも検討会を毎月実施しております。その検討会の中で、これにしようと思ったら陸地部であればどこの給食センターでも同じ値段で分けて頂きますが、島嶼部に配達する場合は少し高くなることもありますので、同じ価格でそれぞれの調理場で購入できるように範囲を少しずつでも広くしながら、低い価格に揃えていきたいと思います。すぐにご説明させて頂いて、すぐに、最低のラインに揃えるのではなくて、食材選びをしながら共同で購入できるものはできるだけ同じ価格でそれぞれの調理場で使って頂く、ただ、地域で生産されている野菜は差が少々あるけども、JAにお願いして同じような価格で給食については購入できるよう学校給食課が相談や配慮をしながら、できるだけ、ご負担をかけないよう低い金額で抑えていこうと進めている状態です。

県下でも今治市が一番給食費は安く設定されておしま

すし、学校給食課では子どもが口にするものだから、本当に害のない、栄養のあるものをできるだけ食べさせてほしい、その中で、少し値段が上がるのなら、それはお願いをして少し値段があがってもいいのではないかと考えております。

それを申し上げましたら、教育長なにを言われるのですかと色々なご家庭があるので、できるだけ安くいいものを提供するよう私達はがんばっているのだと、例えばキャベツにしても他市では千切りしたものを購入しており、今治市では形は色々だが丸ごと購入してきて、調理員さんに包丁で切ってもらって形にする等出きるだけ価格を下げるよう頑張っているのだから、これからも出来るだけ頑張って価格を下げられるだけ下げようとして進めているのであって、それからは私も頭の下がるおもいでよろしく願いしますと頭を下げて、学校給食を進めているような現状でございます。

吉良委員

費用の問題ではないのですが、数は少ないと思うのですが、給食である程度一日の栄養を摂取している子もいると聞くので、すごい給食がなくなる頻度が高いなど。例えば、総体があるからとかそれに参加していない子どもも給食がなくなる。遠足の時に給食がないのは当たり前なのですが、例えば振替とか振替の振替とか給食がなくなる頻度が高いと感じるので、それは決まっていることとしてなんとかとめないといけないのかなと。

高橋教育長

決まっておりません。出来るだけ給食を提供したいけれども、総体があり、選手は総体に参加する、残るものもいる、応援も行きますので、校長の判断でこの日は給食をカットしてお弁当を持ってそれぞれの現地で応援しようとカットする場合、先日のように災害等で学校が休校になった場合等ありますが、出来るだけ給食はカットしない方向で進めてはおります。しかし、仰られたように行事等の関係で給食がカットになる場合もありますが、仰られたように給食は子ども達の成長のカロリーを計算してしっかり支えてくださっていますので、出来るだけカットをしない方向で進めてほしいと再度学校へお願いして、給食ロスを

カットしていきたいと思いますので、貴重なご意見ありがとうございました。

吉良委員

派生する形ですが、遠足の予備日が概ね翌日になっておりますが、雨で中止になって翌日に延期になって、翌日も雨の場合地面が雨でびしょびしょだろうに、なんで翌日なんだろうと時々聞きますが、私自身もすごく疑問に思ったりするのですが、2、3日おいたほうがいいのかと思ったりするのですが。

高橋教育長

仰ることをお聞きしたら本当にその通りだなと思います。

学校のほうとしましては、教育課程がありますので、行事を2、3日後にずらす場合に教育課程のなかで色々なやる必要がありますので、混乱を出来るだけ避けるために、次の日にずらすほうが好ましいという形でずらせていくことがあります。

運動会でも次の日曜日という形でずっとやってきましたが、その結果、9月末ですと、台風が来たりして、10月の中頃に運動会をしたというような事例もございますので、できるだけ早い段階で、行事をやらせて頂きたいという考えがあってそういう風にやらせてもらっております。

P T Aカレンダーを作っておりますので、昔は行事を出来るだけずらしながらその時の状況で実施してはいたのですが、今はP T Aカレンダーに掲載した行事はほとんど変更なしで進めておりますので、ご家庭のほうの予定もありますし、特に親御さんが来て頂く時には、この日にと設定した日にポイントで実施しながら、次の日であれば、でやすいのではないかという形で、2、3日後にしますとどの行事も決めれば、仰られるように雨が降っても翌々日にと延期ができますが、色々配慮しながら次の日でも対応できるような体制を整えながら、出来るだけ行事の変更のないように、行事をずらさないように、進めていくことが前提でございますので、その辺は行事をもう一度調べなおしてみ、どちらのやり方がいいのか考えていきながら、校長先生とも相談しながら、考えさせてもらったらと思いま

	す。
吉良委員	理由がわかったのでよかったです。
奥本委員長	その他を議題とする。
－全員－	特になし
奥本委員長	午前10時32分閉会を宣す。

以上、会議の次第を記し、その相違ないことを証するため署名する。

篠宮委員

高橋教育長